
星間言語

夏氷/MDT128

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星間言語

【Nコード】

N7668T

【作者名】

夏氷／MDT128

【あらすじ】

科学が進んだ未来の地球の話。

西暦2122年。地球の科学は目覚ましい進歩を遂げ、生活は飛躍的に豊かになった。

医療も発達し、平均年齢は200歳を超えたが、月や火星への移住や合成食料などの開発により、環境面での問題は一切無かった。

自然環境も大幅に改善されたし、人々の心も寛容になり地球上でのいざごさは全くとっていいほど無くなった。あくまでも、地球上では…。

というのも、地球は数年前から遙か先にあるゼル星と戦争中なのだ。ことの始まりは、だいたいこんな感じであった。

ある時、地球から情報収集用の人工衛星が発射された。

しかし、電波が故障し操縦がきかなくなり、

航行していたゼル星の宇宙船に激突した。

不運にも、ゼル星人は種族的に好戦的な性格らしく、すぐさま地球に報復攻撃を仕掛けてきた。

もちろん地球側はゼル星人たちに謝罪を乞うたが、ゼル星人たちは聞く耳を持たず、めばしい都市を次々に破壊していった。

こうなれば地球も黙ってはいられず、ゼル星人に奇襲を仕掛け、編隊を全滅させた。

当然ゼル星人たちは沸き立ち、また新たな編隊を組んで地球にやって来た…。

…という具合に、地球とゼル星は何度も交戦を繰り返し、その度に都市は破壊され、莫大な軍事費用が注ぎ込まれ、多数の死傷者が出るのであった。もちろん、これはゼル星にとっても同じである。

ある時、地球の宇宙外交局の者が言った。

「もう限界だ。これ以上ゼル星と戦い続ければ、やがてどちらの星も滅亡する…」

まあ、地球側としては、あんな野蛮な星がどうなろうと知ったことではないが。

隣の男も言う。

「その通りです。宇宙船の運転で化石燃料は枯渇しかけてるし、破壊された都市の復興も労力と費用の無駄です」

「そもそも、もう戦闘における人材も殆ど居ない…」
外交局の者たちは口々に嘆いた。

そして、一人の男が叫んだ。

「どうだろう。ここはひとつ、停戦交渉をしてみるというのは」

「もうそれしか手段は無いが、果たして彼らに通じるだろうか。

初めて地球にやって来た時も、我々の謝罪が一切通用しなかったぞ」

「いや、ゼル星の方としてもそろそろ限界だろう。

こちらから切り出せば、意外と応じるかもしれない」

かくして、地球はこの手段に賭けることにした。

「善良なゼル星の皆さん、地球からの切実な願いです。

もうこれ以上戦いを続けることはお互いに不利益です。

どうか、停戦に応じて下さいませんかでしょうか」

という内容の交渉原文が作られ、ゼル星の言語への翻訳が進められた。

「ゼル星人たちの会話を傍受しました。
これを元に彼らの言語を解読し、翻訳を試みましょう」

やがて、苦心の末ゼル星の言語への翻訳が完了し、
ゼル星に向けてその交渉電波が向けられた。

しかし、ゼル星の攻撃が緩む様子は無かった。
むしろ、どんどん加熱していった。

「一体なぜだろう。完全に逆効果じゃないか」
地球の人間は頭を悩ましたが、ゼル星人達の反応は
至極当然のことと言えた。

なぜなら、あの時傍受したゼル星人の会話は
兵隊たちの乱暴極まる喋り方であり、
それを元にした地球の交渉文も実に乱雑な内容となったからだった。

つまり、地球はゼル星に次のような内容の
電波を延々と向けていたということである。

「やい、うすのろな宇宙の恥ども。」

地球にケンカを売るとは良い度胸だな。

お前たちの戯れ言に付き合ってる暇は無いんだ。
悔しかったら、威勢良くかかってきやがれ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7668t/>

星間言語

2011年10月9日04時12分発行